

横浜市インフルエンザ流行情報 1号

横浜市健康福祉局健康安全課 / 横浜市衛生研究所

《トピックス》

横浜市内がインフルエンザの流行期に入りました。

【概況】

2019年第40週(9月30日～10月6日)の定点^{※1}あたりの患者報告数は、横浜市全体で**1.35**と、流行開始の目安となる1.00を上回りました。流行開始時期は、昨シーズンの第48週(11月26日～12月2日)よりも早くなっています。

学級閉鎖等は、第37週(9月9日～15日)から報告されており、第40週までに合計15件(小学校14件、中学校1件)、患者数171人が報告されています。

今シーズンの第40週までの市内の迅速診断キットの結果は、累計で **A型 86.3%、B型 13.7%**と、A型が多く検出されています。なお、全国のウイルス分離・検出状況^{※2}では、AH1pdm型が多く検出されており、横浜市での検出状況も同様の状況です。

今後、インフルエンザの本格的な流行が予想されるため、正しい手洗い^{※3}等の予防や早期受診などの対策^{※4}が重要です。

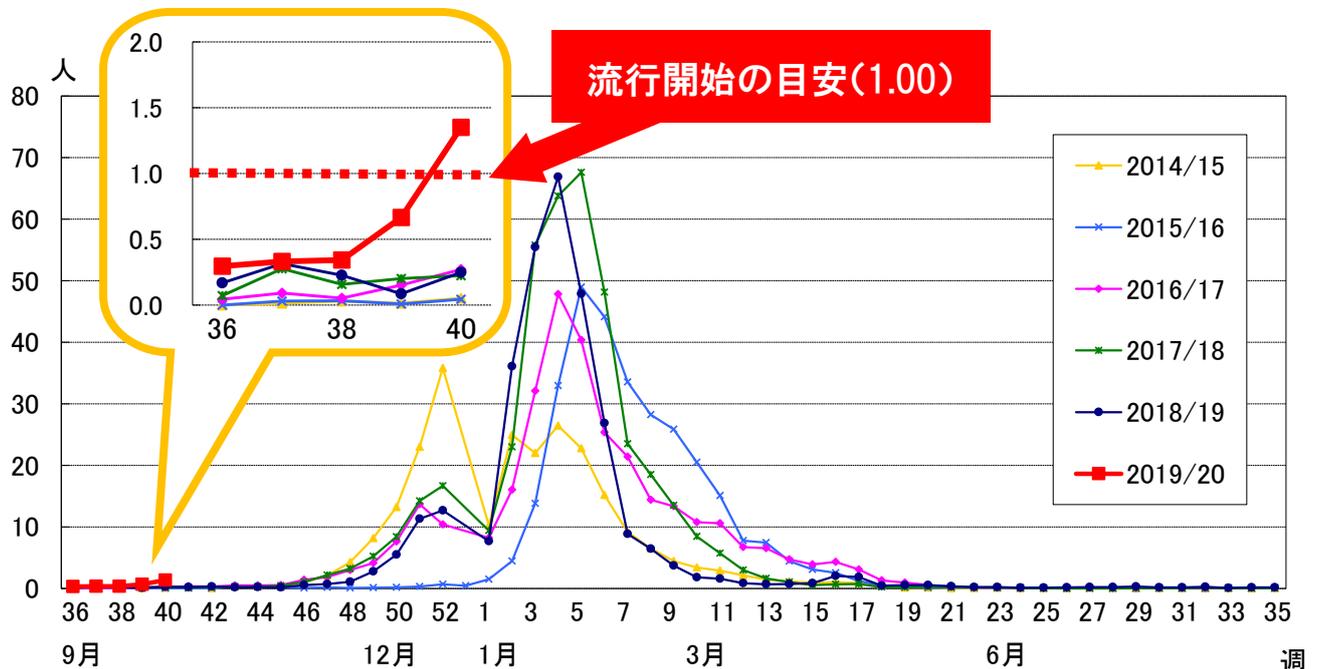
※1 定点とは、定期的にインフルエンザ患者発生状況を報告していただいている医療機関(市内153か所)のことで、そこから報告された患者数の平均値が定点あたりの患者報告数です。

※2 [インフルエンザウイルス分離・検出速報\(国立感染症研究所\)](#)

※3 [横浜市保健所ホームページ](#)(「正しい手洗い方法」および、掲示用ポスター「石けんで『手』を洗おう」をトップページに掲載しておりますので、是非ご活用ください)

※4 [市民向けインフルエンザ予防チラシ\(横浜市\)](#)

○市内流行状況:市全体の定点あたりの患者報告数は、第35週で0.15、第36週で0.30、第39週で0.67と増加し、第40週で1.35となり、流行開始の目安である1.00を上回りました。

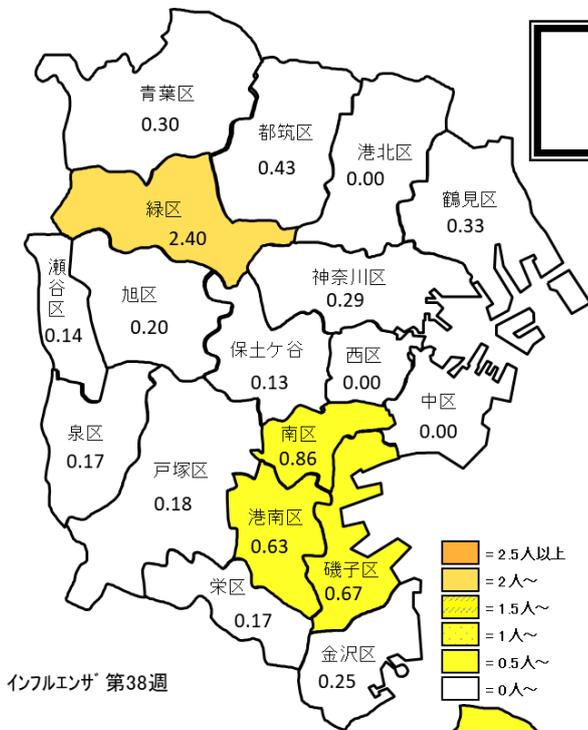


地図で表した直近3週間の区別流行状況
(塗り分けの数字は定点あたり報告数)

《参考》

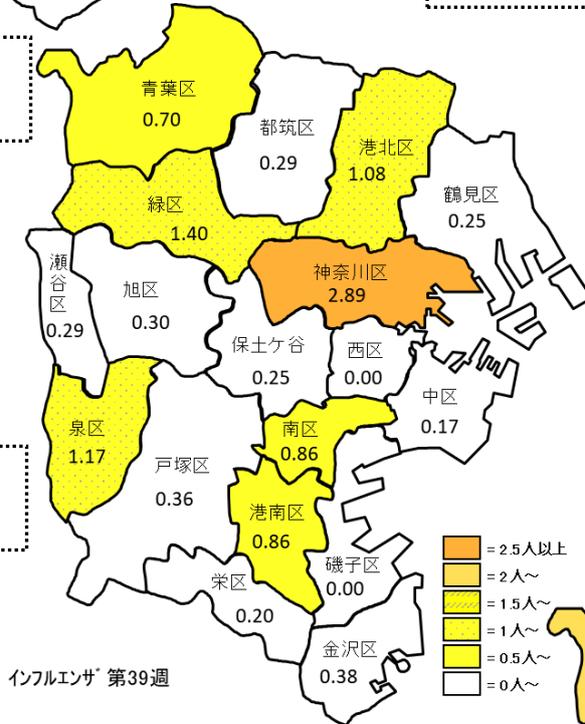
昨シーズン(2018/19年)の流行推移

- ・流行の開始【定点あたり1.00超】
第48週(11月26日~12月2日)
- ・流行注意報発令【定点あたり10.00超】
第51週(12月17日~23日)
- ・流行警報発令【定点あたり30.00超】
第2週(1月7日~13日)
- ・流行警報解除【定点あたり10.00未満】
第7週(2月11日~17日)

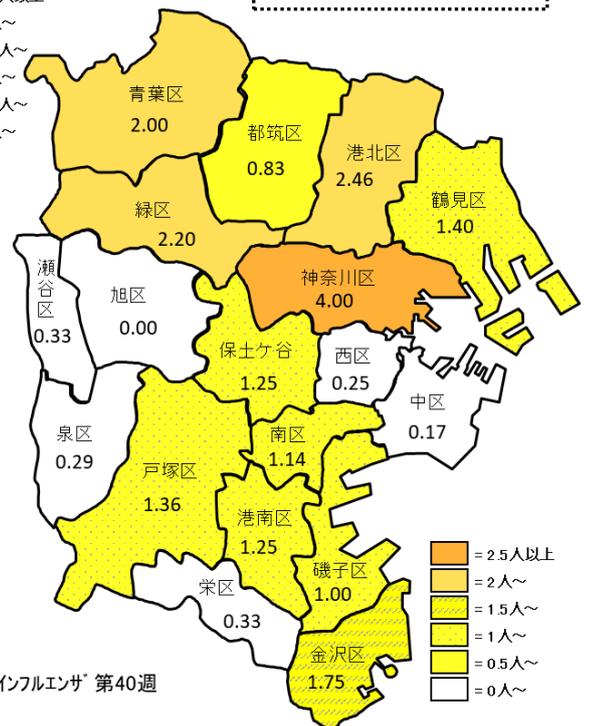


《市全体》
第38週 0.34

《市全体》
第39週 0.67



《市全体》
第40週 1.35
【流行開始】



※参考リンク

近隣自治体の流行状況

- [神奈川県](#)
- [川崎市](#)
- [東京都](#)

全国の流行状況

- [国立感染症研究所](#)

【お問い合わせ先】 横浜市衛生研究所感染症・疫学情報課 TEL 045(370)9279
横浜市健康福祉局健康安全課 TEL 045(671)2442